

Mizuho Daily Market Report

2023/3/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	136.77	136.77	+0.58	+2.07
EUR	1.0638	1.0597	▲0.0071	+0.0001
AUD	0.6732	0.6730	▲0.0031	▲0.0078
SGD	1.3480	1.3476	+0.0051	+0.0049
CNY	6.9091	6.9168	+0.0470	+0.0087
MYR	4.4855	4.4753	+0.0033	+0.0413
THB	34.94	34.78	▲0.00	+0.10
IDR	15279	15280	+45	+90
PHP	55.03	55.03	+0.04	+0.13
INR	82.60	82.59	+0.08	▲0.15

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.056%	+6.3 bp	+17.9 bp
日本(10年)	0.505%	▲0.1 bp	▲0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.751%	+4.0 bp	+27.3 bp
オーストラリア(5年)	3.648%	+5.6 bp	▲3.2 bp
シンガポール(5年)	3.421%	+8.5 bp	+27.1 bp
中国(5年)	2.730%	+1.9 bp	+1.0 bp
マレーシア(5年)	3.693%	+3.6 bp	+7.1 bp
タイ(5年)	2.220%	▲0.4 bp	+5.1 bp
インドネシア(5年)	6.583%	+4.8 bp	+9.3 bp
フィリピン(5年)	5.975%	+1.7 bp	+2.6 bp
インド(5年)	7.422%	+2.4 bp	+4.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,003.57	+1.0%	▲0.5%
N225(日本)	27,498.87	▲0.1%	+1.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,240.59	+0.6%	▲0.4%
ASX(オーストラリア)	4,334.01	+0.3%	+0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,234.90	▲0.6%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,310.65	▲0.1%	+0.7%
KLSE(マレーシア)	1,455.49	+0.4%	▲0.1%
SETI(タイ)	1,612.64	▲0.5%	▲2.4%
JKSE(インドネシア)	6,857.415	+0.2%	+0.3%
PSE(フィリピン)	6,622.45	+0.2%	▲0.9%
SENSEX(インド)	58,909.35	▲0.8%	▲1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.30	▲0.6%	+1.6%
金	1,835.87	▲0.0%	+0.7%
原油(WTI)	78.16	+0.6%	+3.7%
銅	8,928.10	▲1.7%	+0.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	136.70	—	138.70
EUR/USD	1.0500	—	1.0640
AUD/USD	0.6470	—	0.7290
USD/SGD	1.3420	—	1.3700
USD/CNY	6.8590	—	6.9800
USD/MYR	4.4500	—	4.5100
USD/THB	34.40	—	35.10
USD/IDR	15220	—	15320
USD/PHP	54.70	—	56.00
USD/INR	82.20	—	83.10

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は136円台前半でオープン。前日の米経済指標の結果を受けたインフレの長期化懸念から米10年債利回りが再び4%台に乗せる動きを横目にドル円はじり高で推移。東京時間クローズ前には136円台後半まで値を伸ばし海外時間へ。

アジア通貨は総じて軟調。米金利上昇・ドル高の流れを受けアジア通貨は対ドルで下落した。昨日発表されたタイの輸出(前年比)は-4.5%となり、市場予想を下回った。

海外時間のドル円は引き続き米金利が高止まりする中堅調に推移。米州時間朝方に発表された米新規失業保険申請件数が引き続き20万件を下回り、また同時に発表された第4四半期単位人件費が、予想の2倍の伸びとなったこと注目され、年初来高値となる137円台前半まで上昇。しかしこのレベルでは利益確定の売り意欲もあり、136円台半ばまで下押し。その後は米長期金利が上昇する中136円台後半まで値を戻す。米州時間午後はボスティック・アトランタ連銀総裁の「3月は25bpの利上げ支持だがデータ次第」との発言が伝わり、ウォラー理事の「インフレは予想ほど速く鈍化していない」などの発言が伝わるが、ドル円の反応は限定的となり、金利が徐々に落ち着く中やや下落し、136円台後半でクローズした。

【金利】

米債利回りは上昇。労働コスト関連の指標の改定値が強い結果となった他、新規失業保険申請件数についても予想を下回り、堅調な労働市場環境を示したことから、利上げ環境の長期化への懸念が強まった格好。市場参加者の利上げ最終到達点の見通しも上昇修正されており、年内利下げへの思惑は後退が続いている。

【予想】

本日のドル円は引続き底堅く推移すると予想。引続き米指標は雇用市場の堅調さを示しており、米利上げ長期化が意識される中、米金利上昇・ドル高の流れが継続するものと予想する。一方で、昨日海外時間には137円台での上値の重さが見られており、週末も控える中上値追いは限定的か。

【本日の予定】

(日本) 1月 失業率 / 有効求人倍率
(日本) 2月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
(アジア) 1月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 1月 豪 住宅ローン額 / 投資家ローン額
(アジア) 2月 NZ ANZ消費者信頼感指数
(アジア) 2月 インド PMサービス業
(アジア) 2月 シンガポール PMI
(アジア) 2月 中国 CaixinPMサービス業
(アジア) 2月 豪 PMサービス業(確)
(欧州) 1月 ユーロ圏 PPI
(欧州) 1月 仏 製造業生産 / 鉱工業生産
(欧州) 1月 独 貿易収支
(欧州) 2月 ユーロ圏 PMサービス業(確)
(欧州) 2月 仏 PMサービス業(確)
(欧州) 2月 独 PMサービス業(確)
(欧州) 2月 英 PMサービス業(確)
(米国) 2月 ISM非製造業景況指数
(米国) 2月 サービス業PMI(確)
(米国) ホウマンFRB理事講演
(米国) ボスティック・アトランタ連銀総裁講演
(米国) ローガン・ダラス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。